

新河岸川 広域景観 プロジェクト便

vol. 4

2008年12月17日発行



彩の国  埼玉県

12月13日（土）13:00～16:00 にふじみ野市役所5階会議室で「新河岸川広域景観プロジェクト景観掘り起こし勉強会【ふじみ野・川越エリア】」を開催しました。（参加者25名）ふじみ野市、川越市で活動されている団体の方や市民の方、7月の講演会や8月、10月の各勉強会をきっかけに景観に興味をお持ちになった方、新河岸川が好きな方などが参加され、充実した勉強会となりました。



前半は、《景観》について勉強しました。東京農業大学の阿部准教授には『”らしさ”の景観がつくる地域の価値』のご講演をいただきました。地域固有の景観というのは、そこの生活や気候風土によって生み出されているもので、景観を守っていくために、地域の方が生き生き生活していくことが必要なのだと思いました。また、NPO法人ゆめつるせ代表の小杉氏には、前回に引き続き、地元の河岸場跡について、現在の様子など写真を交えて発表いただきました。身近な話でみなさんととても興味深く聞いていました。

後半の『景観掘り起こしMAP作成』では、参加者が日頃思っている「良い景観」「残念な景観」「景観資源」を思い思いに付箋に書き、地図に貼っていきました。これで6市の景観掘り起こしMAPが完成しました。地域によって、付箋に書かれる内容が違っており、これが《地域固有の景観》なんだと思いました。

新河岸川広域景観プロジェクトとは…

昭和のはじめまで約300年間舟運で栄えた歴史ある新河岸川をモデルとしたプロジェクトにより多くの県民のみなさまが《景観》について関心を持ち、県民やNPOのみなさま、企業等と市、県が一体となり行動することで、埼玉の美しい景観を先導することを目的とします。



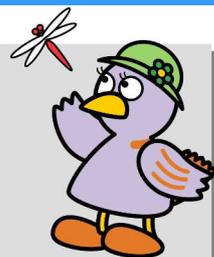
埼玉県のマスコット
コバトン

- 美しい景観は、私たちが快適で心地よい生活をし、埼玉の良さを再認識し、誇りと愛着を生むきっかけとなります。
- 私たちの日々の暮らしに《景観》の視点を取り入れ、身のまわりの景観に関心を持ち、良い景観はみんなで守り、悪い景観はみんなで直していくなど、できることから時間をかけて美しい景観をつくっていきます。

『”らしさ”の景観がつくる地域の価値』

東京農業大学造園科学科

阿部 伸太 准教授



らしさとは…？

ファミリーカーを見て、「あ、スポーツカーだ」とは思いませんね。ものの姿にはその”らしさ”が表れているからです。使っていくためにとぎすまされた形や備えた機能がその姿となり、”らしさ”をつくっているのです。

地域の”らしさ”の景観も同じです。気候、風土に育まれたその地域の人々の生活、産業の景観こそが、その地域固有の景観なのです。

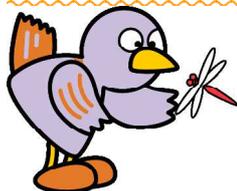
地域の”らしさ”が生み出す価値

”らしさ”の景観、地域資源はさまざまな価値があります。その魅力を引き出すことは、その地域の人々の誇りになります。ステータスが上がるのです。まわりの地域から「あそこの地域いいね！」と評価されると、訪れてくる人が増え、観光にも繋がります。地域のコンセプトが明確になってくると、まちづくりの方向をコントロールすることもできます。

新河岸川の上流域には、一番街や周辺の寺院、河岸場跡、広がる田園風景などの地域の景観資源がたくさんあります。これらが繋がると、より一層魅力が増すと思います。

景観づくり～ライフスタイルと魅力ある景観

生活と密接している風景、その地域の暮らし方が出ている風景、”らしさ”の景観の中には、その地域の人々が居ます。魅力ある景観を保全していくためには、その地域の人々が豊かに生き生き生活していくことが一番重要です。



『新河岸川河岸場周辺の景観”昔と今”』

特定非営利活動法人NPOゆめつるせ代表理事

小杉 武 氏

ふじみ野市、川越市の河岸場跡を訪ねた。

- 百目木河岸 ○古市場河岸 ○福岡河岸 ○寺尾河岸
- 新河岸 ○牛子河岸 ○扇河岸 ○仙波河岸

人が住んでいた場所には昔からある巨木があり、昔の写真と重ね合わせることができる。樹木のある景観は人の営みによる景観で、歴史を物語るとても重要なものである。

(実際に訪れた写真や、樹木の葉っぱなどを紹介いただきました。)



『景観掘り起こしMAP作成』



2グループにわかれ、新河岸川の《景観》について、参加者が感じていることを付箋に書き出し、グループ内で発表しながら、地図を作成していきました。

「良い景観」…青の付箋

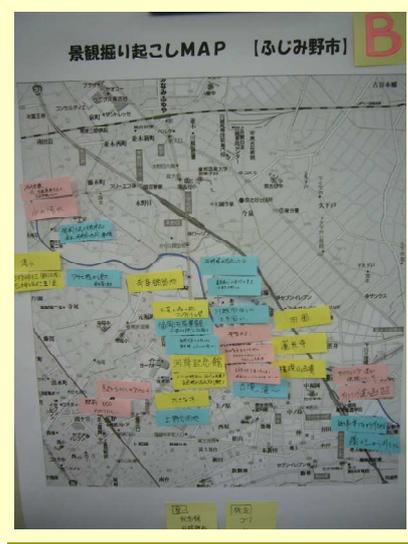
「残念な景観」…赤の付箋

「景観資源」…黄の付箋

手順①付箋に記入

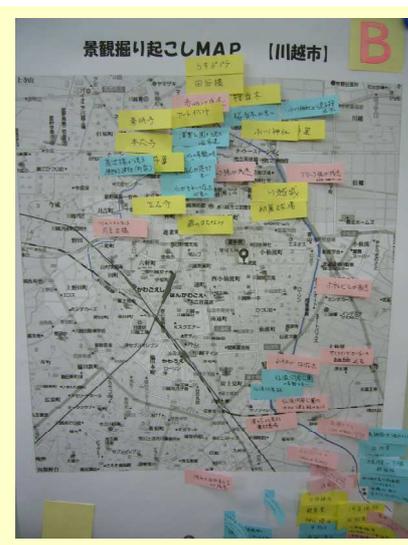
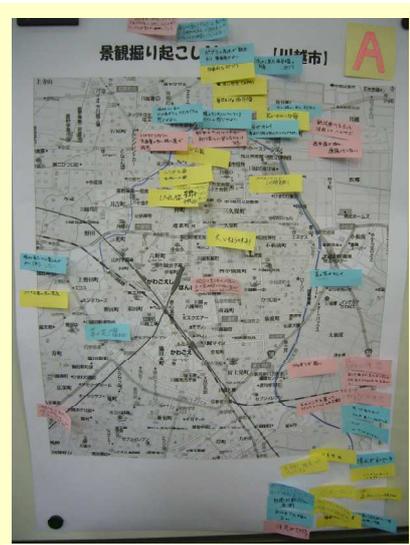


▼ふじみ野市の景観掘り起こしMAP



↑河岸記念館や斜面林など資源が集まっています

▼川越市の景観掘り起こしMAP



↑北部と南部で付箋が別れました

手順②地図に貼る



手順③話し合い



手順④代表が発表





意見交換の様子

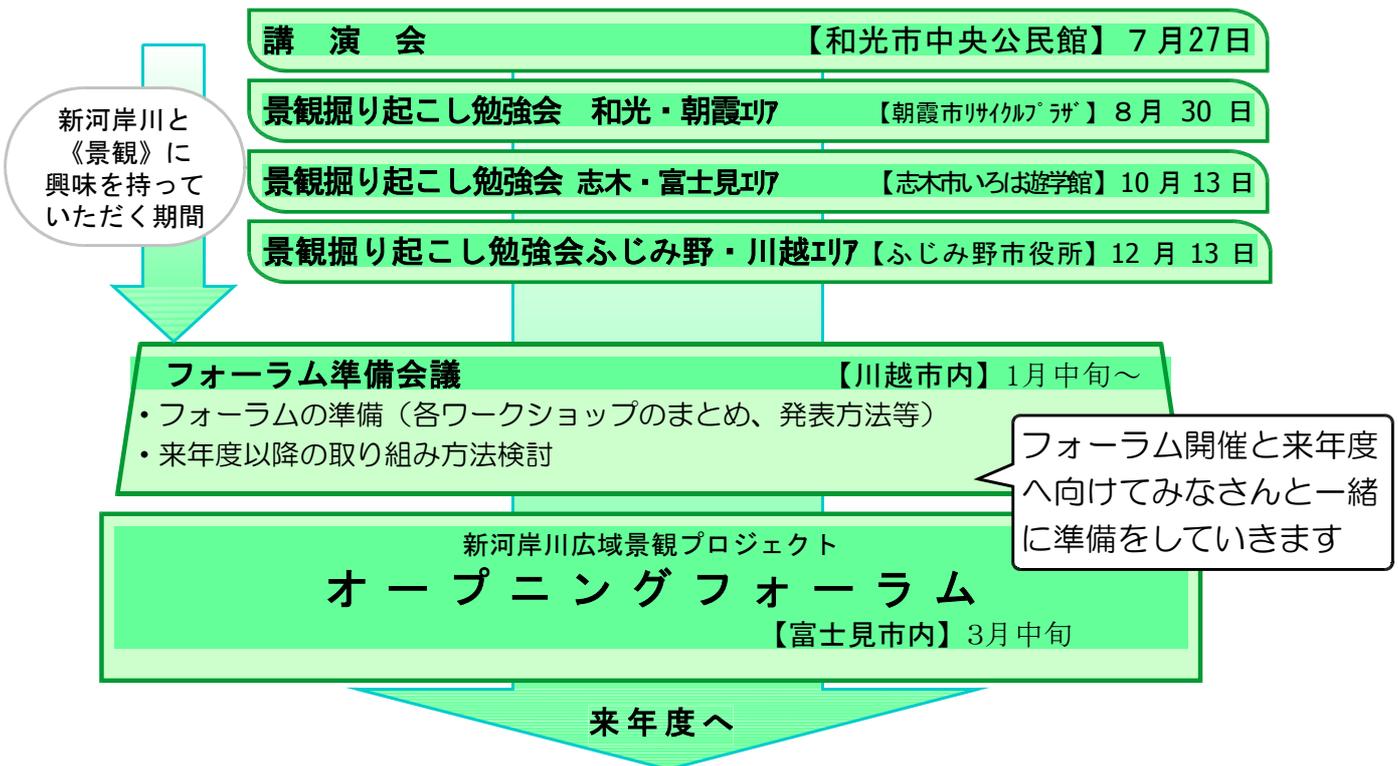


できあがった景観掘り起こしMAPを見ながら意見交換を行いました。ふじみ野市、川越市は河岸場の跡や、寺院など景観資源がたくさんあるのに、繋がりがないことが話題になりました。

《この資源を舟運で繋げたら良い》という意見が出ましたが、現時点では水量や堰、川辺の整備など、課題があります。阿部准教授から、資源のあるところは守り、保全していき、資源のないところは景観をつくりこむことも必要だとアドバイスをいただきました。



平成20年度スケジュール



ご意見
お待ちしております

埼玉県 県土整備部

県土づくり企画室

景観・まちづくり推進担当

電話 048-830-5367（直通）

FAX 048-830-4822

Email a5360-08@pref.saitama.lg.jp

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/B100/keikanHP/shingashitop.html>